

科目名	古典探究	単位数	4単位	実施予定授業数	140時間
-----	------	-----	-----	---------	-------

☆学習の到達目標

学習の到達目標	<p>知識及び技能 生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の伝統的な言語文化に対する理解を深めることができるようにする。</p> <p>思考力・判断力・表現力等 論理的に考える力や深く共感したり豊かに想像したりする力を伸ばし、古典などを通じた先人のものの見方、感じ方、考え方との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。</p> <p>学びに向かう力、人間性等 言葉がもつ価値への認識を深めるとともに、生涯にわたって古典に親しみ自己を向上させ、我が国の言語文化の担い手としての自覚を深め、言葉を通して他者や社会に関わろうとする態度を養う。</p>
使用教科書・副教材等	<p>古典探究（数研出版） 読んで見て覚える重要古文単語315（桐原書店） 読解をたいせつにする体系古典文法（数研出版） 重要な句法と語彙を学ぶ精選漢文（尚文出版）</p>

☆学習計画および評価方法

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価規準）	時数
	随筆/鳥の空音（枕草子）	4	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	6
	随筆/宮に初めて参りたるころ（枕草子）	4	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 周囲の女房たちの心情について粘り強く考察し、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	6
	日記文学/うつろひたる菊（蜻蛉日記）	5	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って話し合いに参加しようとしている。</p>	6
	逸話/梁上君子	5	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 県の人々が陳寔のどのような人柄に感銘を受けたかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。</p>	6
	逸話/三横	5	<p>知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕</p> <p>思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕</p> <p>主体的に学習に取り組む態度</p>	6

第1学期			周処が心を入れ替えようとした理由について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	
	1学期中間考査			
	日記文学/土御門邸の秋（紫式部日記）	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	6
	日記文学/薫る香に（和泉式部日記）	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 積極的に作者の心情をとらえ、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	6
	物語/車争ひ（源氏物語）	6	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く引き歌の効果について考察し、今までの学習を生かして調べたことをまとめようとしている。	6
	小説/人面桃花	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 本文中の漢詩にあらわされた崔護の心情について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	6
小説/酒虫	7	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 酒虫が劉氏にとって禍福のどちらであったかについて、話し合いにおいて積極的に意見を発表している。	6	
1学期期末考査				
【知識・技能】		定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】		定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】		課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【1学期の評価方法】		「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		

学期	学習内容	月	学習のねらい（評価規準）	時数
	物語/柏木と女三の宮（源氏物語）	8	知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕	6

		主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	
物語/継母の策謀 (住吉物語)	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。 [A(1)キ] 主体的に学習に取り組む態度 継子いじめの物語について積極的に調べ、学習課題に沿ってまとめようとしている。	6
歴史物語/村上天皇 と安子(大鏡)	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 登場人物の行動とそこから浮かび上がる人物像について粘り強く考察し、学習課題に沿ってまとめようとしている。	6
史伝/伯夷・叔齊	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 末尾の「天道是邪非邪」という表現にこめられた司馬遷の思いについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	6
史伝/廉頗・藺相如	9	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 廉頗と藺相如がお互いに対してどのような態度をとったかについて進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	6
2学期中間考査			
歴史物語/最後の除目 (大鏡)	10	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	6
評論/清少納言と紫式部 (無名草子)	10	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。 [A(1)イ] 主体的に学習に取り組む態度 積極的に本文の内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。	6
評論/俊成自讃歌のこと (無名抄)		知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。 [(2)イ] 思考・判断・表現	

	10	「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って俊恵の主張を説明しようとしている。	6
文章/捕蛇者説	10	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、作品の成立した背景や他の作品などとの関係を踏まえながら古典などを読み、その内容の解釈を深め、作品の価値について考察している。〔A(1)エ〕 主体的に学習に取り組む態度 柳宗元がこの文章を執筆した動機について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	6
漢詩/中国の詩	11	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 漢詩の詩型・押韻・対句について進んで考察し、学習課題に沿って本文を解釈しようとしている。	7
漢詩/古体詩	11	知識・技能 古典などを読むことを通して、我が国の文化の特質や、我が国の文化と中国など外国の文化との関係について理解を深めている。〔(1)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、関心をもった事柄に関連する様々な古典の作品や文章などを基に、自分のものの見方、感じ方、考え方を深めている。〔A(1)キ〕 主体的に学習に取り組む態度 日本文化にも影響を与えた中国の風習について、積極的に考察しようとしている。	7
2学期期末考査			
【知識・技能】	定期テスト・小テストにより評価する。		
【思考・判断・表現】	定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。		
【主体的に学習に取り組む態度】	課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。		
【2学期の評価方法】	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。		

学期	学習内容	月	学習のねらい(評価規準)	時数
第3学期	評論/秘すれば花 (風姿花伝)	12	知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。〔A(1)イ〕 主体的に学習に取り組む態度 粘り強く本文の内容を読み解き、学習課題に沿って筆者の主張を説明しようとしている。	6
	近世小説/世界の借屋大将 (日本永代蔵)	1	知識・技能 古典に用いられている語句の意味や用法を理解し、古典を読むために必要な語句の量を増すことを通して、語感を磨き語彙を豊かにしている。〔(1)ア〕 思考・判断・表現 「読むこと」において、古典の作品や文章などに表れているものの見方、感じ方、考え方を踏まえ、人間、社会、自然などに対する自分の考えを広げたり深めたりしている。〔A(1)カ〕 主体的に学習に取り組む態度 自ら進んで藤市の人生観を評価し、今までの学習を生かして話し合いに参加しようとしている。	6
	近世小説/浅茅が宿 (雨月物語)		知識・技能 古典を読むために必要な文語のきまりや訓読のきまりについて理解を深めている。〔(2)イ〕 思考・判断・表現	

	2	<p>「読むこと」において、文章の種類を踏まえて、古典特有の表現に注意して内容を的確に捉えている。[A(1)イ]</p> <p>主体的に学習に取り組む態度 積極的に登場人物の行動や心情をとらえて内容を整理し、学習課題に沿って自分の考えを説明しようとしている。</p>	6
	【知識・技能】	定期テスト・小テストにより評価する。	
	【思考・判断・表現】	定期テスト・課題およびレポートの記述内容から評価する。	
	【主体的に学習に取り組む態度】	課題及びレポートの記述内容、生徒の自己評価・相互評価により評価する。	
	【3学期の評価方法】	「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ数値化し、各観点を40%：40%：20%の割合で総括して、10段階評価とする。	
	【年間の学習状況の評価方法】	各学期の「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」をそれぞれ総括して、5段階評定とする。	